

産婦人科

当科の方針と特徴

産婦人科の多岐にわたる分野に、最先端の、しかも心温まる医療を提供することが当科の使命と考えている（現在は不妊治療を除く）。

産科は、地域周産期センターとして、また大阪府産婦人科診療相互援助システム（OGCS）の準基幹病院として、年間約700の分娩を管理している。ほとんどを個室化して、プライバシーに配慮した環境で、小児科との連携を常に行いながら総合病院ならではの安全な分娩を目指している。

良性婦人科疾患に対しては、腹腔鏡や子宮鏡を用いた、患者さんの身体に優しい手術の適応を常に考慮、しかし最終的には安全性を優先する判断を術前カンファレンスにて全員で確認している。腹腔鏡の傷は、臍部は5mmで臍の最も深い位置としており、臍付近での傷はほとんど残らないとあってよい。最近話題の単孔式腹腔鏡では、臍付近に傷が一つで綺麗になるとはいいながら臍周囲に数センチの傷が必要であり、当科では単孔式を臍部には用いる予定はない。

悪性疾患に対しては、術前の病期診断、組織診断についての検討と、年齢や合併症についての考慮をしつつ、機能温存が可能かどうかの判断を常に皆で討議して治療方針決定を行っている。とくに頸がんには、センチネルリンパ節検索を用いた広汎性子宮全摘術、広汎性子宮頸部摘出術（トラケレクトミー）を施行しており、PETで発見できないような微小なリンパ節転移の検索に役立っている。また進行がんでも極めて初期に近い状態であれば、腹腔鏡を用いた手術の適応も考慮している。放射線治療は放射線科とのカンファレンスを通じて、綿密な治療計画をたてている。抗がん剤治療は基本的には通院治療可能であり、外来化学療法室において十分な監視のもと施行している。また術後の合併症であるリンパ浮腫や排尿障害に対するサポート・治療が、看護師外来も含めてなされて効果をあげている。

女性骨盤外科では、骨盤臓器脱に対する治療が継続してなされている。合併症や年齢に応じた治療が選択されて、高齢者の場合でも安全で効率的な治療となっている。ここでも看護師が排尿機能の評価、サポートを行っている。

以上の、分娩を含めた産科医療、良性悪性婦人科疾患、骨盤臓器脱の治療総数は、大阪府下第一級の数誇るものである。

(a) 産婦人科スタッフ医師16名（平成22年12月31日現在）

医師名	卒業年度	出身校名	着任年月日	身分
永野忠義	昭和54年	兵庫医大	平成17年9月1日	部長
古山将康	昭和55年	大阪大学	平成17年10月1日	部長（女性骨盤センター）
寺川耕市	平成元年	京都大学	平成19年8月1日	副部長
榊原敦子	平成9年	長崎大学	平成19年5月1日	副部長
熊倉英利香	平成12年	京都大学	平成14年1月1日	医員
宇治田麻里	平成14年	広島大学	平成20年4月1日	医員
辻なつき	平成17年	和歌山県立医大	平成19年4月1日	医員
上田創平	平成10年	関西医大	平成21年4月1日	医員
吉川博子	平成18年	金沢大学	平成20年4月1日	レジデント（女性骨盤外科センター）
西澤明未	平成19年	神戸大学	平成21年4月1日	レジデント
佛原悠介	平成19年	広島大学	平成21年4月1日	レジデント（女性骨盤外科センター）
芝本拓巳	昭和57年	鹿児島大学	平成19年4月1日	非常勤

(b) 臨床業績等

平成21年度総外来患者数： 34,457人

総入院患者数： 2,126人

2010年総手術件数：1,374件 (入院・外来問わず、小手術も含む)

病床数：61床 (産科28床、婦人科33床)

日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設

周産期専門医制度指定研修施設

日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設 (認定施設番号062709)

(c) 婦人科手術数：896例 (平成22年1月～平成22年12月)

1. 2010年婦人科主要手術： 896例 (平成22年1月～平成22年12月)

1-1. 婦人科悪性手術

手術名	症例数	備考
広汎子宮全摘	31例	トラケレクトミー 9例を含む
腹式子宮全摘 (+付属器切除)	34例	リンパ郭清伴うものは除外
膣式子宮全摘	6例	
腹腔鏡下膣式子宮全摘	8例	リンパ郭清伴うものは除外
リンパ節郭清を伴う手術	29例	腹腔鏡下リンパ節郭清 2例含む
その他の悪性開腹手術	30例	
その他の悪性開腹・円錐切除以外の手術	6例	腹腔鏡下付属器切除 例を含む
円錐切除・LEEP	57例	
婦人科悪性手術合計	201例	

1-2. 婦人科良性手術

手術名	症例数	備考
腹腔鏡下手術	288例	腹腔鏡下膣式子宮全摘 27例、 腹腔鏡下子宮外妊娠手術 29例を含む
子宮脱・尿失禁手術 (子宮全摘伴わない)	93例	
膣式子宮全摘	77例	子宮脱手術 例を含む

腹式子宮全摘	67 例	開腹子宮外妊娠手術 2 例、 筋腫・卵巣のう腫核出、付属器切除等含む
その他の良性開腹手術	56 例	
子宮鏡手術	83 例	
その他良性腔式手術など	31 例	
婦人科良性手術合計	695 例	

2. 産科主要手術： 289 例 （平成 22 年 1 月～平成 22 年 12 月）

手術名	症例数	備考
帝王切開	155 例	選択的帝王切開； 85 例 緊急帝王切開； 70 例
妊娠子宮全摘術	2 例	
頸管縫縮	9 例	
卵管結紮	3 例	
吸引分娩	44 例	
外回転	16 例	
骨盤位分娩術	1 例	多胎分娩は除く
流産手術	59 例	うち中期中絶 3 例
産科主要手術合計	289 例	

注； 子宮外妊娠手術は婦人科手術に含めた

(d) 産科実績（平成22年1月～平成22年12月）

総分娩数（22 週以降）：	<u>727</u> 例
帝王切開術：	<u>155</u> 例
骨盤位経膈分娩数（多胎除く）：	<u>1</u> 例
骨盤位帝王切開数（多胎除く）：	<u>40</u> 例

NICU：有

母体外管理可能週数：妊娠 26 週以後

新生児に対する小児科の対応は、当直あり、24 時間常時対応可能。

(e) 学会発表、論文発表
学会発表

第 12 回女性骨盤底医学会学術集会

平成 22 年 5 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日) (埼玉)

「解剖検体の子宮頸部一座骨棘間結合組織と分娩歴の検討」

平田英司¹、藤原久也¹、古山将康、山本弥寿子¹、工藤美樹¹

広島大学大学院医歯薬学総合研究科産科婦人科学¹

第 12 回女性骨盤底医学会学術集会

平成 22 年 5 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日) (埼玉)

「Vulvodynia 症例についての臨床的考察」

吉川博子、古山将康、西澤明未、佛原悠介、中平理恵、上田創平、辻なつき、宇治田麻里、
錢鴻武、熊倉英利香、榊原敦子、寺川耕市、永野忠義

第 12 回女性骨盤底医学会学術集会

平成 22 年 5 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日) (埼玉)

「糖尿病を合併した骨盤臓器脱患者の周術期およびその後の経過に関する検討」

佛原悠介、古山将康、錢鴻武、吉川博子、西澤明未、辻なつき、宇治田麻里、谷和光、
中平理恵、熊倉英利香、上田創平、榊原敦子、寺川耕市、永野忠義

第 122 回近畿産科婦人科学会総会ならびに学術集会

平成 22 年 6 月 19 日 (土) ~ 20 日 (日) (京都)

「腹腔鏡下の子宮全摘術への応用を腹式単純子宮全摘術の工夫」

辻なつき、永野忠義、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、中平理恵、上田創平、谷和光、種田
直史、芝本拓巳、宇治田麻里、錢鴻武、熊倉英利香、榊原敦子、寺川耕市、古山将康

第 122 回近畿産科婦人科学会総会ならびに学術集会

平成 22 年 6 月 19 日 (土) ~ 20 日 (日) (京都)

「腹腔鏡を用いた子宮全摘術の工夫」

宇治田麻里、永野忠義、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、中平理恵、上田創平、谷和光、種
田直史、芝本拓巳、辻なつき、錢鴻武、熊倉英利香、榊原敦子、寺川耕市、古山将康

第 122 回近畿産科婦人科学会総会ならびに学術集会

平成 22 年 6 月 19 日 (土) ~ 20 日 (日)

「HELLP 症候群に PRES を合併した 1 症例」

佛原悠介、榊原敦子、西澤明未、吉川博子、中平理恵、上田創平、谷和光、辻なつき、宇治
田麻里、錢鴻武、熊倉英利香、寺川耕市、古山将康、永野忠義

第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会

平成 22 年 7 月 8 日 (木) ~ 10 日 (土) (茨城)

「子宮頸癌に対する個別化治療として neoadjuvant chemotherapy は有効か」

榊原敦子、永野忠義、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、中平理恵、上田創平、谷和光、辻な
つき、宇治田麻里、熊倉英利香、寺川耕市、古山将康

第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会

平成 22 年 7 月 8 日 (木) ~ 10 日 (土) (茨城)

「長期間子宮体癌と誤認されていた Atypical polypoid adenomyoma」

辻なつき、永野忠義、古山将康

第 50 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 22 年 7 月 29 日 (木) ~ 31 日 (土) (東京)

「当科における腹腔アプローチ」

寺川耕市、吉川博子、永野忠義、佛原悠介、西澤明未、上田創平、辻なつき、宇治田麻里、熊倉英利香、榊原敦子、古山将康

第 50 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 22 年 7 月 29 日 (木) ~ 31 日 (土) (東京)

「尿膜管嚢胞と鑑別を要した mesothelial cyst の一例」

榊原敦子、永野忠義、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、上田創平、辻なつき、宇治田麻里、熊倉英利香、寺川耕市、古山将康

第 50 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 22 年 7 月 29 日 (木) ~ 31 日 (土) (東京)

「腹腔鏡を用いた子宮全摘術の工夫」

宇治田麻里、永野忠義、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、上田創平、辻なつき、熊倉英利香、榊原敦子、寺川耕市、古山将康

第 50 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 22 年 7 月 29 日 (木) ~ 31 日 (土) (東京)

「センチネルリンパ節生検を用いた腹腔鏡下骨盤リンパ節郭清を施工した膣式広汎性子宮頸部摘出術の一例」

永野忠義、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、辻なつき、上田創平、宇治田麻里、熊倉英利香、榊原敦子、寺川耕市、古山将康

ICS-IUGA 2010 JOINT ANNUAL MEETING OF THE INTERNATIONAL CONTINENCE SOCIETY (ICS) AND INTERNATIONAL UROGUNECOLOGICAL ASSOCIATION (IUGA)

23-27 August, 2010 (TORONTO, CANADA)

「Anatomical evaluation of the connective tissue between uterine cervix and ischial spine distinct from traditional uterosacral ligaments (level 1 support)」

Koyama M, Hirata E², Chien H³, Fujiwara H², Kudo Y², Murakami G⁴

The Tazuke Kofukai Research Institute Kitano Hospital¹,

Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima University²,

Kenporen Osaka Central Hospital³, Iwamizawa Kojin-kai Hospital⁴

ICS-IUGA 2010 JOINT ANNUAL MEETING OF THE INTERNATIONAL CONTINENCE SOCIETY (ICS) AND INTERNATIONAL UROGUNECOLOGICAL ASSOCIATION (IUGA)

23-27 August, 2010 (TORONTO, CANADA)

「Practice patterns of transvaginal mesh surgery for pelvic organ prolapse in Japan」

Kato K¹, Gotoh M², Takahashi S³, Kusanishi H⁴, Koyama M⁵, Takeyama M⁶, Shimada M⁷

Dept. of Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital¹,

Dept. of Urology, Nagoya University²,
Dept. of Urology, Nihon University³,
Urology/Gynecology Center, Kameda Medical Center⁴,
Women's Pelvic Surgery Center, Kitano Hospital⁵,
Dept. of Female Urology, Senboku-Fujii hospital⁶,
Dept. of Urology, Showa University Northern Yokohama Hospital⁷

第 16 回きたの産婦人科セミナー

平成 22 年 9 月 4 日 (土)

「妊娠に合併した卵巣腫瘍に対する開腹手術と腹腔鏡下手術との比較検討」

熊倉英利香

第 18 回日本胎盤学会学術集会

平成 22 年 9 月 30 日 (木) ~10 月 1 日 (金) 於熊本

「著明な羊水過多を来した胎盤腫瘍の一例」

西澤明未、寺川耕市、佛原悠介、吉川博子、辻なつき、宇治田麻里、上田創平、熊倉英利香、
榊原敦子、永野忠義、古山将康

平成 22 年度第 2 回「周産期医療研修会」

平成 22 年 10 月 16 日 (土) 於大阪

「当院で経験した飛び込み分娩 2 症例」

西澤明未、佛原悠介、吉川博子、辻なつき、宇治田麻里、上田創平、熊倉英利香、榊原敦子、
寺川耕市、永野忠義、古山将康

第 48 回日本癌治療学会

平成 22 年 10 月 28 日 (木) ~30 日 (土) 於京都

「進行頸癌に対する腹式広汎性子宮頸部摘出術」

永野忠義、寺川耕市、榊原敦子、辻なつき、西澤明未、佛原悠介、吉川博子、上田創平、宇
治田麻里、熊倉英利香、古山将康

第 48 回日本癌治療学会

平成 22 年 10 月 28 日 (木) ~30 日 (土) 於京都

「センチネルリンパ節生検を用いた広汎性子宮頸部摘出術」

辻なつき、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、上田創平、宇治田麻里、熊倉英利香、榊原敦子、
寺川耕市、古山将康、永野忠義

第 123 回近畿産科婦人科学会学術集会

平成 22 年 11 月 7 日 (日) 於京都

「当科の trachelectomy への取り組み」

永野忠義、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、辻なつき、上田創平、芝本拓巳、宇治田麻里、
熊倉英利香、榊原敦子、寺川耕市、古山将康

第 4 回子宮内膜症セミナー

平成 22 年 11 月 27 日 (土) 於大阪

「子宮腺筋症に対するディナゲストの効果」

寺川耕市、永野忠義、西澤明未、佛原悠介、吉川博子、上田創平、辻なつき、宇治田麻里、
熊倉英利香、芝本拓巳、榊原敦子、古山将康

第 17 回きたの産婦人科セミナー

平成 23 年 1 月 22 日（土）於大阪

「当院における子宮外妊娠の統計と今後の対策」

佛原悠介、西澤明未、吉川博子、上田創平、辻なつき、宇治田麻里、熊倉英利香、芝本拓巳、
榊原敦子、寺川耕市、古山将康、永野忠義

第 11 回産婦人科手術・化学療法研究会

平成 23 年 2 月 5 日（土）於京都

「動注化療後に trachelectomy を施行、妊娠・出産に至った子宮頸癌 I b2 期の一例」

辻なつき、佛原悠介、西澤明未、宇治田麻里、熊倉英利香、寺川耕市、古山将康、永野忠義、
辻隆博¹⁾、島田逸人¹⁾、矢野悠子²⁾、吉岡信也²⁾
福井赤十字病院¹⁾、大阪赤十字病院²⁾

第 33 回日本産婦人科手術学会

平成 23 年 2 月 12 日～13 日（日）於岡山

「腹腔鏡を用いた子宮全摘術の工夫」

宇治田麻里、永野忠義、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、上田創平、芝本拓巳、辻なつき、
熊倉英利香、榊原敦子、古山将康、寺川耕市

第 33 回日本産婦人科手術学会

平成 23 年 2 月 12 日（土）～13 日（日）於岡山

「当院における腹腔鏡下子宮筋腫核出時に行うモルセレーションの工夫」

佛原悠介、永野忠義、西澤明未、吉川博子、辻なつき、宇治田麻里、上田創平、熊倉英利香、
榊原敦子、寺川耕市、古山将康

第 33 回日本産婦人科手術学会

平成 23 年 2 月 12 日（土）～13 日（日）於岡山

「当院におけるリガシユアを用いた腹式単純子宮全摘術の工夫～腹腔鏡下手術操作の開腹
手術での習熟～」

辻なつき、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、上田創平、宇治田麻里、熊倉英利香、芝本拓巳、
榊原敦子、寺川耕市、古山将康、永野忠義

大阪温知会総会

平成 23 年 2 月 26 日（土）於大阪

「術前に脳転移を発症した子宮体部神経内分泌腫瘍の 1 例」

宇治田麻里、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、辻なつき、上田創平、熊倉英利香、榊原敦子、
芝本拓巳、寺川耕市、古山将康、永野忠義

第 5 回 TVM 研究会

平成 23 年 2 月 26 日（土）～27 日（日）

「TVM 手術後 3 年を経過した POP 症例の術後成績」

佛原悠介、古山将康、西澤明未、吉川博子、辻なつき、宇治田麻里、上田創平、熊倉英利香、
榊原敦子、寺川耕市、永野忠義

平成 22 年度集談会

平成 23 年 3 月 5 日（土）於大阪

「一般外科処置を要した婦人科症例の検討」

上田創平、佛原悠介、西澤明未、吉川博子、辻なつき、宇治田麻里、熊倉英利香、榊原敦子、

寺川耕市、芝本拓巳、古山将康、永野忠義

著書

「妊娠に合併した卵巣腫瘍に対する開腹手術と腹腔鏡下手術との比較検討」
熊倉英利香、吉川博子、辻なつき、中平理恵、宇治田麻里、錢 鴻武、榊原敦子、寺川耕市、
古山将康、永野忠義
産婦人科の進歩、第 62 卷 1 号 pp1-6、2010

「重度の肝腎不全から奇跡的に救命しえた産褥 HELLP 症候群の一例」
宇治田麻里、吉川博子、中平理恵、辻なつき、錢 鴻武、熊倉英利香、榊原敦子、寺川耕市、
古山将康、永野忠義
産婦人科の進歩、第 62 卷 2 号 pp76-78、2010